

職業実践専門課程の基本情報について

学校名		設置認可年月日		校長名		所在地													
北海道エコ・動物自然専門学校		平成14年11月21日		佐藤 俊		〒061-1373 恵庭市恵み野西5丁目10-4 (電話) 0123-36-2311													
設置者名		設立認可年月日		代表者名		所在地													
学校法人滋慶学園		昭和58年12月23日		浮舟 邦彦		〒134-0084 東京都江戸川区東葛西6丁目16番2号 (電話) 03-5878-3311													
分野	認定課程名	認定学科名		専門士	高度専門士														
商業実務	商業実務専門課程	動物看護師学科		○	-														
学科の目的	「動物と共生する人、家庭そして社会」を発展させるため、動物福祉を基盤とした専門知識・技術と、自らも生涯学び続ける強い意志を持ち、各々の現場で貢献出来る人材を養成																		
認定年月日																			
修業年限	昼夜	全課程の修了に必要な総授業時数又は総単位数	講義	演習	実習	実験	実技												
3年	昼間	2400時間	1170時間	1080時間	1800時間														
生徒総定員	生徒実員	留学生数(生徒実員の内)	専任教員数	兼任教員数	総教員数														
120人	98人	0人	3人	15人	18人														
学期制度	■前期:4月1日～9月30日 ■後期:10月1日～3月31日		成績評価		■成績表: 有 ■成績評価の基準・方法 成績評価における評価点は、平素の学習状況、出席状況の3要素による加点ならびに試験結果を元に100点法とし、60点以上を合格点とし、成績評価による学業結果を総合的に判断し、GPAを用いて算出する。GPAの算出は、小数点以下第3位以下を四捨五入する。 【GPAを算出する計算式】 「GPA=(該当授業科目の単位数×各授業科目で得たGP)の合計÷当該学期に評価を受けた各授業科目の単位数の合計」														
長期休み	■学年始:4月1日 ■夏季:7月から9月までの間で6週間以内 ■冬季:12月から1月までの間で6週間以内 ■学年末:3月31日		卒業・進級条件		必修科目の履修 必修選択科目の必要時間数の履修 試験による合否判定 進級・卒業認定会議での学校長認定														
学修支援等	■クラス担任制: 無 ■個別相談・指導等の対応 年度初めに個人面談実施し学習面・生活面・健康面等の不安に応じて随時面談や指導を行い、必要に応じて保護者も含めて対応		課外活動		■課外活動の種類 ・避難訓練・学園祭・国内研修など ■サークル活動: 無														
就職等の状況※2	■主な就職先、業界等(令和6年度卒業生) 動物病院。 ■就職指導内容 担任就職指導 就職担当者面談 動物業界企業説明会の開催 履歴書指導、面接指導等 ■卒業者数 30 人 ■就職希望者数 28 人 ■就職者数 28 人 ■就職率 : 100 % ■卒業者に占める就職者の割合 : 93.3 % ■その他 ・進学者数: 0人 (令和 2年度卒業生に関する 令和3年5月1日 時点の情報)		主な学修成果(資格・検定等)※3		■国家資格・検定/その他・民間検定等 (令和6年度卒業生に関する令和7年5月1日時点の情報) <table border="1"> <thead> <tr> <th>資格・検定名</th> <th>種</th> <th>受験者数</th> <th>合格者数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>愛玩動物看護師</td> <td>②</td> <td>30人</td> <td>26人</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table> ※種別の欄には、各資格・検定について、以下の①～③のいずれかに該当するか記載する。 ①国家資格・検定のうち、修了と同時に取得可能なもの ②国家資格・検定のうち、修了と同時に受験資格を取得するもの ③その他(民間検定等) ■自由記述欄 (例)認定学科の学生・卒業生のコンテスト入賞状況等			資格・検定名	種	受験者数	合格者数	愛玩動物看護師	②	30人	26人				
資格・検定名	種	受験者数	合格者数																
愛玩動物看護師	②	30人	26人																
中途退学の現状	■中途退学者 2名 令和6年4月1日時点において、在学者98名(令和6年4月1日入学者を含む) ■中途退学の主な理由 進路変更、病気など ■中退防止・中退者支援のための取組 個別面談の実施、スクールカウンセラーの活用等		■中退率 2.0%																
経済的支援制度	■学校独自の奨学金・授業料等減免制度: 有 ○兄弟姉妹・保護者特待生制度 ○単位減免制度 ○卒業生減免制度 ○特待生制度 ○大学入試共通テスト受験者特待生制度 ■専門実践教育訓練給付: 非給付対象																		
第三者による学校評価	■民間の評価機関等から第三者評価: 無																		
当該学科のホームページURL	https://www.heco.ac.jp/																		

1.「専攻分野に関する企業、団体等(以下「企業等」という。)との連携体制を確保して、授業科目の開設その他の教育課程の編成を行っていること。」関係

(1)教育課程の編成(授業科目の開設や授業内容・方法の改善・工夫等を含む。)における企業等との連携に関する基本方針
企業・業界が求める知識・技術が教育課程に反映されるように業界の動向に関して情報交換を行い、教育課程の改善および改定を定期的を実施することを目的とする。

(2)教育課程編成委員会等の位置付け

教育課程編成委員会は、教育課程の編成において企業・業界団体等の意見を活かし、必要となる最新の知識、技術を反映するための連携体制等を行う機関として活動し、職業教育の水準の維持向上を図り、実践的な職業教育を行うことを目的とする。

(3)教育課程編成委員会等の全委員の名簿

令和元年9月1日現在

名前	所属	任期	種別
重信 隆夫	特定非営利活動法人北海道ボランティアドッグ会理事長	令和6年4月1日 ～令和8年3月31日(2年)	①
竹原 晶代	なんぼろ動物病院看護師長	令和6年4月1日 ～令和8年3月31日(2年)	③
下山 記弘	北海道エコ・動物自然専門学校 事務局長	令和6年4月1日 ～令和8年3月31日(2年)	教育課程編成責任者
門田 英敏	北海道エコ・動物自然専門学校 動物看護・ペット学科 学科長	令和6年4月1日 ～令和8年3月31日(2年)	教育課程編成責任者

※委員の種別の欄には、委員の種別のうち以下の①～③のいずれに該当するか記載すること。

- ①業界全体の動向や地域の産業振興に関する知見を有する業界団体、職能団体、地方公共団体等の役職員(1企業や関係施設の役職員は該当しません。)
- ②学会や学術機関等の有識者
- ③実務に関する知識、技術、技能について知見を有する企業や関係施設の役職員

(4)教育課程編成委員会等の年間開催数及び開催時期

年間開催数:2回 開催時期:7月及び2月

(開催日時)

2024/7/25

2024/11/13

(5)教育課程の編成への教育課程編成委員会等の意見の活用状況

●生きた技能を修得すべき●バランスのとれた倫理観●保護活動への取り組み●猫に対する機会提供

【改善項目の実施】

法規に則った独占業務の修得機会提供。学校動物に対する愛護福祉双方の取り組み。猫部屋の新設と動物看護師学科学生主導の取り組みを計画。併せて保護猫活動の現場への実習機会を提供。

2. 「企業等と連携して、実習、実技、実験又は演習(以下「実習・演習等」という。)の授業を行っていること。」関係

(1)実習・演習等における企業等との連携に関する基本方針

実践的かつ専門的な職業教育の専攻分野の職業に係る勤労観及び継続的な学習意欲等の醸成、並びに動物愛護および福祉に関する意識の向上、教育課程の専攻分野の実務に必要な知識、技術、及び技能の修得又は向上に資する教育等を通じて、学科の教育活動の質の保証・向上を図る

(2)実習・演習等における企業等との連携内容

動物病院、ペットショップ、トリミングサロン、ドッグスクール等の現場において、専門知識および技能技術を実践。その修得状況を学科教員が訪問すること、研修日誌等の記録を元に振り返り学生にフィードバックするとともに、学科学生全員に還元する。

(3)具体的な連携の例※科目数については代表的な5科目について記載。

科目名	科目概要	連携企業等
動物看護総合実習	実際の動物診療施設で診療業務に参加し、診療施設の概要や機能、獣医師との連携、飼い主とのコミュニケーション、愛玩動物看護師としての役割や責任について理解し、実務能力を	動物病院等、あさひかわのどうぶつ診療所、アース動物病院、こがね動物病院、アイリス動物医療センター(60病院)

3. 「企業等と連携して、教員に対し、専攻分野における実務に関する研修を組織的に行っていること。」関係

(1)推薦学科の教員に対する研修・研究(以下「研修等」という。)の基本方針

在校している学生たちも多様化しており一人一人を入学から卒業・就職まで導くために、職員それぞれがカウンセリングマインドを持つことが必要とされている。そのために指導と教授力の向上カウンセリング力の向上を目的とする。また、専門技術知識を伝えるに当たり常に業界の新しい情報を入手し、知識技術の向上を図る必要があり、常に研鑽を続けることを目的とする

(2)研修等の実績

①専攻分野における実務に関する研修等

日本小動物獣医師会愛玩動物看護師指定講習会
2024/9/1～9/10

②指導力の修得・向上のための研修等

文部科学大臣認定「職業実践専門課程」に係る研修会
2024年8月1日、2024年12月21日

(3)研修等の計画

①専攻分野における実務に関する研修等

日本小動物獣医師会愛玩動物看護師指定講習会
2025/9/1～9/10

②指導力の修得・向上のための研修等

文部科学大臣認定「職業実践専門課程」に係る研修会
2025年8月1日

4.「学校教育法施行規則第189条において準用する同規則第67条に定める評価を行い、その結果を公表していること。また、評価を行うに当たっては、当該専修学校の関係者として企業等の役員又は職員を参画させていること。」関係

(1)学校関係者評価の基本方針

日々の学校運営については学内の学校長および全教職員会議である「全体会議(定例会隔週1回)」にて運営の見直し並びに次年度事業計画修正への検討を行っている。また、学校関係者評価委員会で得られた外部評価における意見や提案はその内容を検討し12月には改善計画を含めた事業計画を策定している。自己点検自己評価については、年度修了後に「計画」「実践」「評価」の一連の評価を行うために、学校評価ガイドラインに設定した目標や、具体的な計画の実践状況について学校評価委員会を開催し自己評価点検を実施し学校関係者評価との連動により学校運営に活用している。一方教育活動についても学校長および全教職員会議である「全体会議(定例会毎週1回)」にて問題の検討や計画の修正等を検討し、年2回の教育課程編成委員会への報告により毎年次年度カリキュラムへ反映し日々の授業運営の改善に取り組んでいる。

(2)「専修学校における学校評価ガイドライン」の項目との対応

ガイドラインの評価項目	学校が設定する評価項目
(1)教育理念・目標	<ul style="list-style-type: none"> ・理念・目的・育人人材像は定められているか ・学校の特徴は何か ・学校の将来構想を抱いているか
(2)学校運営	<ul style="list-style-type: none"> ・運営方針は定められているか 2-5事業計画は定められているか ・運営組織や意思決定機能は効率的なものになっているか ・人事や賃金での処遇に関する制度は整備されているか ・意思決定システムは確立されているか ・情報システム化などによる業務の効率化が図られているか
(3)教育活動	<ul style="list-style-type: none"> ・各学科の教育目標、育人人材像はその学科に対応する業界の人材ニーズに向けて正しく方向づけられているか ・修業年限に対応した教育到達レベルは明確にされているか ・カリキュラムは体系的に編成されているか ・学科の各科目はカリキュラムの中で適正な位置づけをされているか ・キャリア教育の視点にたったカリキュラムや教育方法などが実施されているか ・授業評価の実施・評価体制はあるか ・育成目標に向け授業を行うことができる要件を備えた教員を確保しているか ・教員の専門性を向上させる研修を行っているか ・成績評価・単位認定の基準は明確になっているか ・資格取得の指導体制はあるか
(4)学修成果	<ul style="list-style-type: none"> ・就職率(卒業生就職率・求職者就職率・専門就職率)の向上が図れているか ・資格取得率の向上が図れているか ・退学率の低減が図られているか ・卒業生・在校生のの社会的な活躍及び評価を把握しているか
(5)学生支援	<ul style="list-style-type: none"> ・就職に関する体制は整備されているか ・学生相談に関する体制は整備されているか ・学生の経済的側面に対する支援体制は整備されているか ・学生の健康管理を担う組織体制はあるか ・課外活動に対する支援体制は整備されているか ・学生寮等、学生の生活環境への支援は行われているか ・保護者と適切に連携しているか ・卒業生への支援体制はあるか
(6)教育環境	<ul style="list-style-type: none"> ・施設・設備は教育上の必要性に十分対応できるよう整備されているか ・学外実習、インターンシップ、海外研修などについて十分な教育体制を整備しているか ・防災に対する体制は整備されているか
(7)学生の受入れ募集	<ul style="list-style-type: none"> ・学生募集活動は適正に行われているか ・学生募集において教育成果は正確に伝えられているか ・入学選考は適正かつ公平な基準に基づき行われているか ・学納金は妥当なものとなっているか
(8)財務	<ul style="list-style-type: none"> ・中長期的に学校の財務基盤は安定しているといえるか ・予算収支計画は有効かつ妥当なものとなっているか ・財務について会計監査が適正に行われているか ・財務情報公開の体制整備は出来ているか
(9)法令等の遵守	<ul style="list-style-type: none"> ・法令、設置基準などの遵守と適正な運営がなされているか ・個人情報に関しその保護のための対策が取られているか ・自己点検・自己評価の実施と問題点の改善に努めているか ・自己点検自己評価結果を公開しているか
(10)社会貢献・地域貢献	<ul style="list-style-type: none"> ・学校の教育資源や施設を活用した社会貢献を行っているか ・学生のボランティア活動を奨励、支援しているか
(11)国際交流	<ul style="list-style-type: none"> ・グローバル人材の育成に向けた国際交流などの取り組みを行っているか

※(10)及び(11)については任意記載。

(3) 学校関係者評価結果の活用状況

自己点検自己評価については、「計画」「実践」「評価」の一連のサイクルを行うために、学校評価ガイドラインに設定した目標や、具体的な計画の実践状況について学校評価委員会を開催し懇談を通じての意見や要望を聴取する。聴取した内容は、学校運営に関する事項は、学内の学校長、副校長、教務部長、部署長の会議である「運営会議(定例会毎週1回)」にて運営の見直し並びに次年度事業計画修正への検討を行い12月には改善計画を含めた事業計画を策定する。一方教育活動については教員及び学科長で構成される学内組織である「教育改革委員会(定例会月1回開催)」にて検討し、1月には次年度カリキュラムの改定にむけての検討ならびに日々の授業運営の改善にを実施している。

令和元年9月1日現在

白倉 慶大	(株)ジュイフルエーケー 店長	2024年4月1日～2026年3月31日(2年)	卒業生代表
葛西 雅栄	学生の保護者	2024年4月1日～2026年3月31日(2年)	保護者代表
桶谷 真平	北海道恵庭北高等学校 進路指導部長	2024年4月1日～2026年3月31日(2年)	高等学校関係者
武石 明菜	ドッグサロン Wan point 代表	2024年4月1日～2026年3月31日(2年)	地域関係者
樋原 均	株式会社ペットハウステン・テン 代表取締役	2024年4月1日～2026年3月31日(2年)	業界関係者

※委員の種別の欄には、学校関係者評価委員として選出された理由となる属性を記載すること。

(例)企業等委員、PTA、卒業生等

(5) 学校関係者評価結果の公表方法・公表時期 毎年6月30日

(ホームページ)

<https://www.heco.ac.jp/disclose-information/>

5. 「企業等との連携及び協力の推進に資するため、企業等に対し、当該専修学校の教育活動その他の学校運営の状況に関する情報を提供していること。」関係

(1) 企業等の学校関係者に対する情報提供の基本方針

企業等の学校関係者に対しては、業界視点を越えた教育施設としての社会活動からの評価視点を得ることが出来るため、これらを学校教育の客観的な評価、運営での業界目線、地域目線、保護者目線、卒業生目線、そして行政目線から第三者の外部評価と意見をいただく委員会として位置づけをしている。したがって、その情報提供は、学科ごとに設けた教育課程編成委員からの教育評価や産学連携、業界連携についての報告を密に行うとともに、入学式、研究発表会、卒業式等の行事にも委員の出席をいただき、学園の生の活動の理解を得る機会を持つように心がけとともに、ホームページを通じて積極的に学校情報を発信し、学校の運営状況について知っていただく機会を持つ努力と教育施設としての水準の向上に努めている。

(2) 「専門学校における情報提供等への取組に関するガイドライン」の項目との対応

ガイドラインの項目	学校が設定する項目
(1) 学校の概要、目標及び計画	(1) 学校の概要、目標及び計画
(2) 各学科等の教育	(2) 各学科等の教育
(3) 教職員	(3) 教職員
(4) キャリア教育・実践的職業教育	(4) キャリア教育・実践的職業教育
(5) 様々な教育活動・教育環境	(5) 様々な教育活動・教育環境
(6) 学生の生活支援	(6) 学生の生活支援
(7) 学生納付金・修学支援	(7) 学生納付金・修学支援
(8) 学校の財務	(8) 学校の財務
(9) 学校評価	(9) 学校評価
(10) 国際連携の状況	(10) 国際連携の状況
(11) その他	(11) その他

※(10)及び(11)については任意記載。

(3) 情報提供方法

情報提供はHPにて公開をしている

自己点検自己評価による

<https://www.heco.ac.jp/disclose-information/>

別紙様式4

<https://www.heco.ac.jp/disclose-information/>

法人決算書及び監査報告書

<https://www.heco.ac.jp/disclose-information/>

<https://www.heco.ac.jp/disclose-information/>

学校関係者評価委員会報告書

<https://www.heco.ac.jp/disclose-information/>

学校関係者評価結果及び改善方針

<https://www.heco.ac.jp/disclose-information/>

授業科目等の概要

(商業実務専門課程 動物看護師学科)															
分類	授業科目名			授業科目概要	配当年次・学期	授業 時数	単 位 数	授業方法			場所		教員		企業等との連携
								講 義	演 習	実験・実習・実技	校 内	校 外	専 任	兼 任	
必修	選択必修	自由選択													
1	○		生命倫理・動物福祉	生命倫理の考え方及び動物愛護・動物福祉(アニマルウェルフェア)について学ぶ。	1 前	30	1	○			○			○	
2	○		動物形態機能学	動物の生命維持の仕組みを形態学、機能学、生化学の面から学び、生命体としての動物を細胞、組織、臓器レベルの各階層で理解するとともに、病的変化について学ぶ基盤を確立する。	1 前	120	8	○			○				○
3	○		動物繁殖学	繁殖に関わる形態機能学を学び、妊娠・分娩と新生子管理、遺伝学の基礎知識を習得する。	1 後	30	2	○			○		○		
4	○		動物行動学	犬や猫の種としての行動様式の特徴を学び、問題行動の原因と対処、予防法を理解する。	1 後	30	2	○			○				○
5	○		動物栄養学	5大栄養素やその代謝など基礎栄養学を学ぶとともに、ライフステージや疾患ごとの違い、各種療法食の特色や給餌方法を修得する。	2 前後	30	4	○			○				○
6	○		比較動物学	飼育動物や野生動物の概要を理解するとともに、産業動物の歴史や品種、飼養管理法、実験動物の品種や飼育管理法、動物実験との関わり、日本の野生動物の種類と保全、動物園などの展示動物の個体群管理について学ぶ。	2 後 3 前	30	4	○			○				○
7	○		動物看護関連法規	動物看護に関連する法規について学び、愛玩動物看護師のあり方等を理解する。	3 後	15	1	○			○				○
8	○		動物愛護・適正飼養関連法規	動物愛護及び適正飼養に関連する法規について学び、人と動物の共生のあり方等を理解する。	3 後	15	1	○			○				○
9	○		動物看護学概論	獣医療の歴史や愛玩動物看護師の職業倫理について学び、専門職としての社会的責務を理解し職業意識を形成する。	1 後	30	2	○			○				○
10	○		動物病理学	様々な疾病が組織や臓器にもたらす変化を学び、病態について理解する。	1 後	30	2	○			○			○	
11	○		動物薬理学	代表的な薬物の体内動態と作用機序、臨床応用及び副作用について学び、動物の疾病の診断や治療にどのように用いられるかを理解する。	2 前後	60	4	○			○				○
12	○		動物感染症学	微生物や寄生虫の分類、生物学的特性、伝播様式や発病のメカニズムについて学び、検査や診断、衛生管理、予防・治療法など感染症対策の基礎について理解する。感染防御に関わる免疫学の基礎について理解する。	1 前 2 後	90	6	○			○		○		
13	○		公衆衛生学	環境及び食品衛生、疫学、人獣共通感染症について学び、人の健康の維持・増進や疾病予防への応用について理解する。	3 前後	60	4	○			○				○

46	○	卒業研究制作(ゼミナール)	各自がテーマをもち、研究的手技を用いて問題発見・解決、仮説検証、イベント、制作物の作成を行う。	3 前	30 ~ 90	1 5 3		○	○	○								
47	○	グルーミング実習	グルーミング技術を段階的、発展的かつ習得する。	1 前 5 3 後	45 ~ 495	1 5 1 1			○	○	○	○						
48	○	業界研修	幅広い動物分野の業界の現場実務を経験することで、視野を 広げ、理解を深め、社会性を身につける。	1 前 5 3 後	45 ~ 270	1 5 6			○		○	○						
49	○	産業動物学実習	産業動物の現場で実習を行い、酪農を含めた産業動物分野の 見識を深める。	1 前 5 3 後	45 ~ 135	1 5 3			○		○	○						
50	○	動物看護指導実習	内科・検査・外科実習にアシスタントとして参加し、指導を通じて 自らの学びと指導法を修得する。	3 前 後	45 ~ 90	1 5 2			○	○		○						
51	○	動物栄養学実習	栄養指導および調理実習を行い、手作りご飯や特別療法食等 の指導ができるようになる。	3 前	45 ~ 90	1 5 2			○	○								○
合計				51	科目		4050 単位 (単位時間)											

卒業要件及び履修方法		授業期間等	
卒業要件：卒業の認定は、卒業までに必要なすべての授業科目の単位(必修全科目および必修選択科)		1学年の学期区分	2期
履修方法：単位は試験・レポート・平常点により認定する。		1学期の授業期間	15週

(留意事項)

- 1 一の授業科目について、講義、演習、実験、実習又は実技のうち二以上の方法の併用により行う場合については、主たる方法
- 2 企業等との連携については、実施要項の3 (3) の要件に該当する授業科目について○を付すこと。